

## 第七章 法施行ニ關スル訓示及諮問

### 第一節 明治四十三年度

大藏大臣訓示、專賣局長官訓達、專賣支局長會議諮問、製鹽地整理事務取扱心得、製鹽地整理事務取扱方注意事項、整理施行上ニ關スル專賣局長官指示

製鹽地整理ハ民業及土地ノ利用ニ大變革ヲ及ホシ地方行政ニ多大ノ關係アルヲ以テ地方長官ヲシテ整理ノ趣旨ヲ充分了解セシメ之カ實行ニ付關係人民ヲシテ誤解ナカラシムルト共ニ禁止後ニ於ケル土地ノ利用、從業者ノ轉業等ニ關シ相當ノ施設ヲ爲サシムルノ要アルニ依リ地方官會議ヲ機トシ明治四十三年四月十五日同會席上ニ於テ大藏大臣ノ訓示セラレタル概要左ノ如シ

内地製鹽地ヲ整理シ之ニ依リ生スル專賣益金ノ増加ヲ以テ鹽價ノ均一及低減ヲ計ルカ爲製鹽地整理ニ關スル法律案ヲ帝國議會ニ提出シ其ノ協贊ヲ經タリ此ノ計畫ハ專ラ全國民ノ利益ヲ目的トスルモノニシテ單一地方ノ利害ニ拘泥シテ之ヲ決スヘキモノニ非サルカ故ニ諸君ハ能ク其ノ趣旨ヲ體シ關係地方人民ノ誤解ヲ防キ殊ニ製鹽禁止地ニ於ケル鹽業者及鹽製造用物件ノ所有者ニ對シテハ夫々交付金ヲ下付スヘキヲ以テ鹽業者及從業者ノ轉業並製鹽地ノ利用等ニ關シテハ適當ニ指導ヲ與ヘラレ交付金ノ費途ニ付テハ其ノ目的ヲ謬ラサル様相當ノ注意ヲ加ヘラレムコトヲ望ム云々

製鹽地整理ハ事異常ノ事務ニ屬スルト其ノ調査ハ最複雑ニシテ且取扱上最公平ト正確ヲ要シ法定金額ノ範圍ニ於テ豫定段別ノ整理ヲ遂ケ圓滿ニ價額ノ決定ヲ了シテ從業者ノ失業及禁止地ノ荒廢ヲ免レシムルニ非サレハ其ノ效ヲ收メタルモノト謂フヘカラス非常ノ難事業ニ屬スルヲ以

テ之ヲ一般專賣事務ト區別シ特ニ支局長ヲシテ直接之カ調査ニ當ラシムルノ必要アリ豫メ各支局長ヲシテ充分整理ノ趣旨ヲ會得セシメ實行上ニ關スル詳細ナル心得ヲ訓達スル必要ヲ認メ明治四十三年五月二日ヨリ五月七日マテ專賣支局長會議ヲ開催シタリ同月二日會議ノ始ニ於ケル大藏大臣訓示ノ概要左ノ如シ

製鹽地整理ニ關スル法案ハ實ニ第二十六議會ニ於ケル一ノ重要問題タリシカ幸ニ議會ノ協贊ヲ得既ニ法律トシテ公布セラレタリ元來鹽專賣ハ財源トシテ好適ナルモノノ一ナリト雖煙草專賣トハ自ラ其ノ性質ヲ異ニスルヲ以テ其ノ收益ハ適當ノ限度ニ達スルヲ以テ満足セサルヘカラス今ヤ鹽專賣ノ純益一千萬圓以上ニ上リ所謂適當ノ限度ニ達シタルモノト謂フヘク此ノ上ハ政府ノ收入ヲ減セサル限可成鹽價ノ均一低廉ヲ計ルヲ必要トス今回實行スヘキ製鹽地整理ノ計畫ハ此ノ趣旨ニ依リ内地ノ製鹽地ハ主要產地ノミヲ存シ全國ニ散在セル劣等ノ產地ハ之ヲ廢止セシメ其ノ結果トシテ生スル鹽ノ不足ハ臺灣鹽及關東州鹽ヲ以テ之ヲ補充シ之カ爲生スル差益ノ増加額ト行政費ノ減額トヲ以テ鹽ノ回送費ニ充テ以テ鹽ノ供給ヲ圓滿ナラシメ鹽價ノ不平均ヲ矯正スルト同時ニ漸ヲ逐フテ一般ニ之ヲ低下セシムトスルニ在リ而シテ此ノ計畫タルヤ專ラ全國民ノ利益ヲ目的トスルモノニシテ單一地方ノ利害ニ拘泥シテ之ヲ決スヘキモノニ非サルカ故ニ諸君ハ能ク此ノ趣旨ヲ體シ關係地方人民ノ誤解ヲ招クカ如キコトナキ様深ク注意ヲ要ス

製鹽地整理ノ計畫ハ直ニ其ノ實行ニ著手シ二箇年度ニ互リ完了ノ豫定ナリ而シテ此ノ事業タルヤ其ノ關係スルトコロ全國各地ニ涉リ其ノ施爲ノ適否ハ地方ノ經濟ト當事者ノ利害トニ大ナル影響ヲ及ホシ頗ル重大ナル事業ナルヲ以テ直接實行ノ任ニ當ルヘキ諸君ハ其ノ責任ノ重大ナルニ省ミ最忠實熱心其ノ職ニ當リ地方官公署等ト聯絡ヲ保チ事業上萬遺漏ナキヲ期シ以

テ完全ナル遂行ヲ期セサルヘカラス殊ニ製鹽禁止地ニ於ケル鹽業者及鹽製造用ノ土地建物器具器械ノ所有者ニ對シ下付スヘキ交付金ノ調査ニ付テハ最公平精確ヲ要スルヲ以テ諸君ハ須ク公平無私ニシテ最周到ノ注意ヲ以テ事ニ當リ圓滿ナル終局ヲ告ケラレムコトヲ望ム云々  
同日專賣局長官ハ製鹽地整理ニ關シ左ノ如ク演達シタリ

今回ノ會同ハ例年普通事務ノ會同トハ趣ヲ異ニシ既ニ大臣閣下ノ訓示モアリタルカ如ク鹽田整理ノコトヲ主トス此ノ事タルヤ我專賣局ニテハ非常ニ重大ナル問題ナリ恰モ煙草製造ノ創業ト輕重ナキ事件ニシテ從テ其ノ關係廣ク全国各地方一萬何千人ノ鹽業者幾十萬點ノ建物器具器械一千九百餘町歩ノ製鹽地ニ對シ交付金ヲ與ヘ爲ニ鹽ノ産額約一億餘萬斤ヲ減シ之ヲ補フニ關東州鹽及臺灣鹽ヲ以テシ回送販賣ヲ擴張シ鹽價ヲ均一低減セシムルノ計畫ナリ是實ニ重大ニシテ而モ未曾テ經驗ナキ問題ナルニ依リ此ノ問題ニ付テハ本官ノ述フル所及關係部長ノ説明ニハ十分意ヲ用非テ固ク之ヲ腦裏ニ收メ法律施行規則其ノ他ノ規定手續類モ遺憾ナク了得精通シ十分ノ成算ヲ整ヘテ歸任セララル様實ヲ入レテ會議セラレムコトヲ望ム  
製鹽地整理ノ趣旨ハ大臣閣下ノ訓示ニテ盡サレ更ニ蛇足ヲ加フルノ要ナク又詳細ノコトハ諮問ノ際克ク了解シ得ラルヘク又大體ノコトモ法律又ハ議會ノ狀況ニ對スル新聞紙等ニ依リ既ニ承知セラレ居ルコトト思ハルルモ今ヤ會議ニ際シ大體ニ互リ正式ニ之ヲ陳述スルノ必要アリト認ム

抑モ大臣ノ訓示ノ如ク煙草專賣ト鹽專賣トハ同ク專賣ト云フモ大ニ其ノ性質ヲ異ニス即チ專賣物件ノ性質之ヲシテ然ラシムルニ由ル夫レ煙草ハ貧富ノ程度生活ノ狀態ニ依テ各人其ノ嗜好品ノ品位等級ヲ異ニス隨テ各人ノ負擔額ハ自ラ克ク生計ノ程度ニ適應サルルモ鹽ハ然ラス何人モ消費セサルヘカラサルモノニシテ恰モ分頭稅ト云フモ可ナリ隨テ細民ノ負擔割合ニ重

シ是鹽專賣ノ理論上非難アル點ナリ又煙草專賣ハ收入主義ヲ採ルコト勿論ニシテ鹽專賣モ制定ノトキハ收入ヲ目的トシタルコト疑フ容レスト雖今ヤ鹽專賣ノ收入ハ千六十五萬圓ヲ計上スルニ至レリ此ノ以上鹽ニ對シテハ最早國庫ノ收益ヲ増加スルノ考ナシ今後ハ自然增收若ハ經費節約ニ本ツク收入ノ増加ハ擧ケテ之ヲ鹽價ノ低減及均一ニ用フルノ方針ナリ此ノ方針ハ敢テ今日ニ於テ始レルモノニ非ス專賣ノ當初ヨリ漸ヲ逐テ今日ニ至リタルモノナリ明治三十九年ノ鹽價制限令、請求ニ依ル官費回送、明治四十年ニ於ケル官費回送ノ創始モ此ノ方針ニ外ナラス越エテ明治四十一年度ニ至リテ政府ハ法律ヲ改正シテ販賣制度ヲ定メ盛ニ官費回送ヲ行フコトトシ回送費ノ一部ヲ負擔シ價格ノ減少ヲ期スルコトトシタリ而シテ明治四十三年度ノ回送費負擔ノ割合ハ増シテ三割ニ上レリ以上採リ來レル方針ノ結果トシテ鹽價ハ月ヲ追テ低落シ統計表ニ就キテ之ヲ見ルモ土地ノ遠近ニ依ル鹽價ノ懸隔ハ漸次其ノ程度ヲ減少シ隨テ全國平均ノ鹽價モ次第第二低落シ最近ノ統計ニ於テ平均百斤二圓六十錢位升賣一升六錢位トナリ居レリ然レトモ尙之ニ満足セス益進ムテ鹽價ノ均一ト低減トヲ計リ先產地非產地ニヨル不均ヲ矯正シ更ニ進ムテ一般ニ之ヲ低減セシムルノ方針ヲ採ラムトス

整理ノ内容ハ法律又ハ施行規則等ニ依リ知ラルヘキモ之ニ付大體ノ説明ヲ爲スヘシ

本計畫ハ全國ニ散在セル鹽田千九百十四町步ヲ整理スルニ在リ而シテ整理スヘキ地方ハ鹽田ノ優劣生産費ノ高低産額ノ多少集團散在ノ如何等諸般ノ事項ヲ綜合シテ之ヲ決定シタルモノナリ區域ハ本日ノ官報ヲ以テ第一回整理地ノ發表ヲ見タレハ就キテ熟覽アラムコトヲ望ム第二回ノ分ハ今明ニ諸君ニ告ケ難キモ兩回ニテ約一億六百萬斤ハ整理セラルヘシ而シテ整理セラレサル地方ハ十州地方以外ニテハ行徳、渡波、吉田、能登等ニシテ各約千萬斤ノ產地ナリ即チ行徳ハ關東地方、吉田ハ東海道、能登ハ北陸地方、渡波ハ東北地方ニ於ケル鎮臺トシテ之ヲ殘シ其ノ

他ハ硝石沃度ノ副産鹽鹹水ヲ原料トセサル再製鹽及小名濱高島ノ機械製鹽大島沖繩等ヲ存ス此ノ内大島沖繩等ノ島嶼ハ回送困難ナルカ爲此ノ地方ハ自辨自給主義ヲ採ル考ニ出テタルモノナリ

千九百十四町歩ノ整理ハ之ヲ二箇年ニ分チ實行スルコトトナセリ而シテ何ノ地方ヲ先ニシ何ノ地方ヲ後ニスルカハ相當詮議ヲ爲シタル所ニシテ順序トシテハ二箇年分ノ内來年ノ分ト本年ノ分トヲ前後セシムル方可ナルカモ知レサレトモ整理ノ趣旨ヨリシテ困難多カルヘキモ比較的劣等ナルモノヲ先ニ整理スルコトトセリ而シテ千九百十四町歩ニ對スル鹽ノ産額ハ一億六百萬斤トナル隨テ現在ノ産額カ平年作ノ産額ト過不足ナキモノトセハ該一億六百萬斤ハ供給不足トナル此ノ供給不足額ノ補充ハ臺灣關東州ヨリノ移輸入鹽ヲ以テセムトス其ノ移輸入力ハ調査ノ上十分之有ルヲ確メタルモ其ノ消化力ハ果シテ十分ナリヤ否疑問ナリシカ此ノ點ハ十分調査ヲ盡シ算數上ニテハ適當ナルコトトナリタリ唯年々ノ移輸入ト其ノ需要トヲ圓滿ナラシムルニハ困難ナルコトナルヘシ臺灣及關東州鹽ノ如キ色澤不長結晶ノ粗大ナルモノハ一般ノ消費ハ固ヨリ味噌漁獲物鹽藏用等ニハ直ニ使用スルコトヲ得ス又醬油ニハ使用差支ナキモ年來ノ習慣上臺灣鹽關東州鹽ノ使用ヲ嫌惡スル事情アレハナリ

一億六百萬斤ノ内地鹽ヲ減シ其ノ代リ移輸入鹽ヲ増加セハ現行ノ賣渡價格ニ於テ百斤三十七錢合計四十萬圓ヲ増加スルコトヲ得ヘク此ノ外整理地ニ於ケル官署ヲ減スルコトヲ得ルヲ以テ其ノ費用二十萬圓ヲ節スルコトヲ得二者併セテ六十萬圓トナル此ノ六十萬圓ヲ以テ回送費ノ負擔ニ充ツル考ナリ回送費負擔ノ割合ハ目下ノ計畫ハ三割ナレトモ六十萬圓ヲ用フル結果更ニ四割餘ヲ加フルコトヲ得ヘシ果シテ然ラハ政府ノ負擔ハ七割乃至八割トナリ僅ニ殘ルニ三割カ消費者ノ負擔ト爲ルニ過キササルヲ以テ鹽價ハ大部分ニ於テ平均ヲ得非產地ニ於ケル鹽

價ハ從前ヨリモ遙ニ低廉トナル即チ鹽價百斤ニ付九錢一升ニ付一厘八毛ノ減少トナル是算盤上ノ結果ニシテ低減ノ金額甚少ナルカ如キモ實行上ハ此ノ數字ヨリモ尙ヨリ以上ニ減少セシムルコトヲ得ヘキ旨議會ニ於テモ言明シタリ此ノ事タルヤ諸君ノ盡力ニ俟チテ始テ實行シ得ルコトト信ス幸ニ此ノ旨ヲ體サレムコトヲ望ム

法律上ニテハ無償ニテ鹽田ノ整理ヲ爲スコトヲ得即チ專賣法上ニテハ交付金ヲ要セサルモ今回ノ法律ニテ特ニ之ヲ交付スルハ全ク恩惠的ニ出ツルモノナリ然ラハ此ノ交付金ハ全ク涙金ノ性質ヲ有スルモノナルヲ以テ之カ給付ニ付テハ特ニ公平ヲ持シ偏輕偏重ナカラムコトヲ期スヘシ

整理地ハ千九百十四町步一億六百萬斤ナルカ故ニ補充鹽モ同額ナルコト前述ノ如シ然ルニ整理地交付金額ハ法律ニ於テ三百二十萬圓ニ制限セラレ居ルカ故ニ十分ノ覺悟ヲ以テセスムハ或ハ豫定通整理シ難キ虞アリ然レトモ政府ノ責任上如何ニシテモ豫定金額ヲ以テ豫定通ノ整理ヲ遂行セサルヘカラス故ニ諸君ハ須ク大局ニ眼ヲ注キ一地方ノ事情ニ拘泥スルカ如キコトナク冷靜慎重ニ局ニ當ルト同時ニ整理ノ實行ハ關係人民ノ利害休戚ニ關スルコト大ナルヲ以テ公平無私ノ處理ヲ爲シ苟モ偏頗ナキヲ期シ且一點モ決算上ノ非難ヲ受ケサル様注意セラレタシ

整理問題ハ斯クノ如ク重大ナル問題ナルカ故ニ支局長自ラ其ノ局ニ當ルコトトシ之ヲ部下ニ一任スルカ如キコトナキヲ要ス尤手足トシテハ部下ノ者ヲ補助員ト爲スコトハ差支ナキモ支局長自ラ局ニ當ル覺悟アルヲ要ス又整理地方ニ於ケル官吏ノ内ニハ當業者ノ歡心ヲ買フ様ノコトナカルヘキモ知ラス識ラスノ間ニ地方ノ情實ニ絡マレ冷靜慎重ノ態度ヲ失スルノ虞ナシトセサルヲ以テ整理事務ノ補助員即チ調査員ノ人選ニハ最慎重ノ注意ヲ爲シ後日ニ至テ非難

ヲ招クカ如キコトナキ様留意スヘシ殊ニ鑑定人ノ選定ハ專賣官吏ハ勿論專賣官吏以外ノ人モ清廉潔白内外共ニ信用アル人ヲ選定スルコトニ注意スヘシ

實行上ノ順序ハ取扱手續トシテ規定セルヲ以テ茲ニ其ノ梗概ヲ述フヘシ

(イ) 本會議ヨリ歸任ノ後關係出張所長ヲ召集シ事務執行ニ關スル方針及順序方法ヲ指示シ一切ノ事項ヲ了得セシメタル上其ノ席上ニ於テ

(ロ) 支局直轄又ハ出張所區域毎ニ模範トナルヘキ一二箇村ヲ協議ノ上選定シ實地調査ヲ爲シ實地ニ就キ豫備調査ノ順序方法ヲ研究シ且諸般ノ資料ヲ蒐集セシメ

(ハ) 本局ヨリ監督員ノ出張ヲ待チ更ニ關係出張所長ヲ召集シ諸般ノ研究ヲ爲スト同時ニ豫備調査ニ關スル十分ノ打合ヲ爲スヘシ其ノ打合ノ結果標準價格ノ評決ヲ爲シ之ヲ了シタルトキハ直ニ本局ニ報告スルト同時ニ豫備調査ニ著手スヘシ

(ニ) 豫備調査ハ本局出張員ノ指示監督ニ從ヒテ之ヲ行ヒ九月三十日迄ニ其ノ實蹟ヲ本局ニ報告スヘシ

(ホ) 本調査ハ申請書ノ提出ニ從ヒ之ヲ始ムヘシ本局出張員ハ此ノ間ニ監督ノ爲出張スヘシ本調査ハ十二月末日迄ニ其ノ實蹟報告ヲ本局ニ到達セシメ得ル様完了スヘシ

(ヘ) 本局ニ於テハ直ニ審査ノ上價格決定書ヲ支局ニ送付シ交付金下付ノ手續ヲ爲スヘシ事務ノ順序ハ準備豫備本調査トナルモ其ノ中最重要ナルハ豫備調査ナリ豫備調査ハ其ノ期間モ長クシテ十分之二ニ從事スルノ餘裕アリ且豫備調査ハ本調査ノ基礎トナルカ故ニ其ノ重要ナルコト論ヲ俟タス本調査ノトキハ唯變更異動アル分ニ對シテノミ調査セハ可ナル位ニ豫備調査ノ際十分綿密ニ調査スルヲ要ス

調査物件ノ標準價格ヲ定ムヘキ區域ハ豫メ腹案ヲ定メ置キ且其ノ標準價格ヲ調査スルニ際シ

テ必要アルトキハ關係府縣知事ト協議ヲ遂ケ相當技術者ヲ選定シ例ヘハ製鹽地ニシテ養魚池トナリ得ヘキモノニ對シテハ水産技師、技手、田畑トナリ得ヘキモノニ付テハ土木技師、技手ヲ選ミ十分熟議ヲ遂ケ其ノ意見ヲ徵シ又正式ニ調査囑託ヲ爲スモ可ナルヘシ此ノ事ハ豫備調査ノ時ニモ其ノ必要アルヘシ

製鹽地建物設備器具器械等鑑定ニ付スル場合多カルヘシ此ノ場合ニ禁止後ノ見込價格ハ困難ナル問題ナリ就中土地ヲ最トス是等ノモノニ付テハ地方ノ技術者ニ囑託スルコト必要ナル場合アルヘシ之ニ關シテハ本省ヨリ豫メ關係府縣知事ニ相當便宜ヲ與ヘラレル様依頼シ置クヘキヲ以テ諸君ハ其ノ旨ヲ含ミテ協議セラレムコトヲ望ム今回ノ整理就中價格ノ見積等ニ付キテ縣廳側ノ意見ト支局ノ意見ト扞格ヲ來スコトアルトキハ取纏上非常ニ面倒ヲ生シ不得策此ノ上ナカルヘシ此ノ點ハ諸君ノ手腕ニ依リ最圓滿ニ終結セムコトヲ望ム

交付金ヲ下付スヘキ物件ノ見積價格及禁止後殘存價格見積方ノ如何ニ依リ直ニ交付金額ニ影響シ其ノ増減ヲ來シ其ノ結果豫算ニ超過スル虞ナキヲ保セサルカ故ニ見積價格及殘存價格ノ調査ニ付テハ特ニ意ヲ用フルヲ要ス從來一回二回ニ涉リ調査ヲ重ネ其ノ結果ニ依テ見ルトキハ餘程窮屈トナリ居ルカ如キヲ以テ實際ノ調査ニ方リテハ大ニ注意スルヲ要ス

原案ニハ之ナカリシモ議會ニ於テ修正ノ結果大藏大臣ノ裁定ニ對シ行政裁判ヲ許スコトトナリタルモ實地ノ運用上ニ於テハ行政訴訟ハ勿論裁定ノ請求スラモ皆無カラシムル様豫メ留意スルヲ要ス畜ニ之ニ止マラス建物設備器具器械等ノ物件ハ可成全部協議ニテ圓滿ニ纏マル様盡力スルヲ要ス要スルニ調査ハ精密正確一地一筆一品一目ニ就キ調査シ一點ノ非難ナキヲ期スヘシ而シテ最後ノ協議ニ方リテハ却テ明細ニ入ルコトヲ避ケ大體ニ付テ協議ヲ纏ムル方圓滿ナル解決ヲ告グルニ於テ便利ナルヘシ



最後ニ目錄申請書ハ期限ニ拘ラス可成速ニ取纏メラルル様配意セラレムコトヲ望ム  
以上ハ大體ニ付テノ方針ヲ示シタルニ止マレリ尙詳細ハ諮問事項其ノ他適當ノ機會ニ於テ陳述スルトコロアルヘシ云々

支局長會議ニ於テハ左ノ事項ヲ諮問付議シタリ

專賣支局長會議諮問事項抄錄

- 一 別冊製鹽地整理事務取扱手續ニ對スル意見如何(別冊省略)
- 二 明治四十三年法律第四十八號施行規則第六條ニ掲クル器具ノ品目別紙ノ通限定セムトス之ニ對スル意見如何(別紙省略)
- 三 製鹽地建物設備器具器械ノ價格見積及利用見込ニ關スル意見如何
- 四 製鹽地整理ニ關スル鑑定人選定及鑑定ノ統一方ニ付テノ意見如何
- 五 鑑定人手當及旅費支給額ニ關スル意見如何
- 六 製鹽禁止後鹽業者及從業者ノ轉業見込ニ關スル意見如何
- 七 製鹽地整理地方ニ於テ將來必要トスヘキ内地鹽臺灣鹽ノ數量割合及内地鹽ノ等級別數量如何

前項ノ需要ニ應スル爲十州地方ニ於テ生産シ得ヘキ鹽ノ等級別數量如何

七 製鹽地整理後ニ於ケル内地鹽ノ販賣官署又ハ引渡場所ハ之ヲ増設スルノ要ナキヤ如何

臺關鹽ノ元賣捌人支店ヲ増設セシムルノ要ナキヤ如何

右諮問ノ結果規定ニ屬スヘキモノニ在リテハ更ニ審議ヲ盡シ夫々修正ヲ加ヘ左記令達ヲ爲シタリ

一、製鹽地整理事務取扱手續

第七章 法施行ニ關スル訓示及諮問

(右ハ明治四十三年五月十日甲第一一四一號ヲ以テ達セルコト第五章第二節記載ノ如シ)

一 製鹽地整理施行規則第六條器具ノ品目決定ノ件

(右ハ明治四十三年五月十一日甲第一一四一號ノ二ヲ以テ達セルコト第五章第二節記載ノ如シ)

一 製鹽地整理法第五條乃至第七條ニ依ル鑑定人ノ手當旅費ニ關スル件

(右ハ明治四十三年八月一日大藏省令第三十六號ヲ以テ公布セルコト第四章記載ノ如シ)

既ニ製鹽地整理ニ關スル法律施行規則ノ公布アリ之カ事務取扱手續ヲ定メ整理ノ方針ヲ指示シタルモ調査實行ニ關スル具體的の方策ニ付支局長ヲシテ準據セシムヘキ心得方ヲ示シ整理ノ圓滿ナル施行ヲ期スルノ切要ナルヲ認メタルヲ以テ特ニ製鹽地整理事務取扱心得ヲ左ノ如ク訓示シタリ

祕第二四〇四號長官達 (明治四十三年五月十日)

專 賣 支 局 長

製鹽地整理事務取扱心得

總 則

- 一 製鹽地整理事務ハ支局長專ラ其ノ局ニ當リ慎重ニ調査ヲ爲スヘシ
- 二 目錄用紙ハ可成速ニ當該關係者ニ配付シ遲滯ナク提出セシメ調査上ノ便ヲ圖ルヘシ申請書用紙ハ九月中ニ當該關係者ニ配付スヘシ
- 三 目錄ニ記入スヘキ事項ハ洩ナク記入セシメ申請書提出ニ至リ目錄記載事項以外ニ増加スルカ如キコトナカラシムル様注意スヘシ
- 四 目錄及申請書ハ成ルヘク速ニ提出セシメ調査進行ノ便宜ヲ圖ルヘシ
- 五 調書ノ記入ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ記入スヘシ

六 實地調査價額鑑定其ノ他製鹽地整理事務施行方ニ關シ外部ニ於テ物議アルトキハ事態ニ應シ速ニ具狀申報スヘシ

準備

七 調査物件ノ標準價額調査並豫備調査ヲ爲スニ際シテハ必要ニ應シ府縣廳ニ交渉シ相當技能アル者ヲ選定シテ其ノ意見ヲ徵シ又ハ調査ノ囑託ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ囑託ハ明治四十三年度ニ於テハ左記府縣ニ付一府縣二人以内ニシテ必要ノ人員ヲ選定シ手當一人百圓以内ノ範圍ヲ以テ囑託ノ手續ヲ爲スコトヲ得

京都	神奈川	長崎	新潟	千葉	茨城	三重	愛知
静岡	岡宮	城	福島	巖手	青森	山形	福井
和歌山	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎
鹿児島							

八 支局長ハ歸局後直ニ關係出張所長ヲ召集シ整理事務ニ關シ方針ヲ指示シ且支局直轄及出張所所屬區域毎ニ一二箇村ヲ選定シ實地調査ヲ爲シ主トシテ標準價額ノ評決ニ資スルト共ニ調査ノ順序方法並調査資料等ニ付研究ヲ爲スヘシ

九 標準價額ヲ決定スル際囑託員アルトキハ之ト打合ヲ爲シ熟議ヲ遂クヘシ若實地踏査ノ必要アルトキハ實地ニ就キ商議スヘシ

十 製鹽地ノ標準價額ハ法第三條ヲ適用シ得ラレサル土地ノ價格ノ標準ト爲スヘキモノニシテ其ノ標準地ハ法第三條ヲ適用スヘキ類地ヨリ選定スヘシ

十一 標準價格評決書中禁止前ノ價額ハ上中下ニ區分セルモ此ノ三階級ニ限定セル趣旨ニ非サルヲ以テ實際ノ調査ニ際シテハ之ヲ標準トシテ適當ニ相當價額ヲ見積ルヘシ

十三 標準價格決定ニ付テハ支局管内各地ノ權衡ヲ失セサル様特ニ注意スヘシ

第七章 法施行ニ關スル訓示及諮問

十四 法律第一條第四項ノ廢止ノ認定ハ當事者ニ重大ノ利害關係ヲ有スルヲ以テ左記ノ標準

ニ依リ特ニ慎重ニ之カ調査ヲ爲シ其ノ廢止シタルモノト認メタル關係者ニハ目錄及交付  
金下付申請書ヲ配付セサルコトニ取扱フヘシ

一 鹽專賣法施行後管テ一回モ製造ヲ爲シタルコトナキモノハ其ノ事由ノ如何ニ拘ラス  
總テ廢止シタルモノト認ムルコト

二 鹽專賣法施行後製造ヲ爲シタルコトアルモ明治四十二年十二月ノ現狀ニ於テ其ノ廢  
止ノ事實ヲ確認シ得ルモノハ廢止シタルモノトシテ取扱フコト

三 鹽專賣法施行後製造ヲ爲シタル製造者カ近年製造ヲ爲ササルニ拘ラス廢止ノ手續ヲ  
爲サス繼續製造ノ意思アルコトヲ主張スル場合ニ於テ製鹽地建物設備器具器械ノ現  
狀亦廢止ノ事實ヲ確認シ難キモノノ如キハ廢止シタルモノト認メサルハ勿論

(イ) 鹽田製鹽者ニシテ

(1) 製鹽地ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモノノ如キハ建物設備器具器械ヲ所有スルモ  
廢止シタルモノト認ムルコト

(2) 製鹽地及煎熬場用主要物件ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモノノ如キハ建物設備其  
ノ他ノ器具器械ヲ所有スルモ廢止シタルモノト認ムルコト

(3) 建物設備等ヲ讓渡又ハ毀滅スルモ製鹽地及煎熬用主要物件ヲ所有スルモノ  
ノ如キハ廢止シタルモノト認メサルコト

(4) 煎熬用主要物件ヲ讓渡又ハ毀滅スルモ製鹽地其ノ他ノ物件ヲ所有スルモノ  
ノ如キハ廢止ト認ムヘカラサルコト

(5) 製鹽地又ハ製鹽地ト建物トヲ所有シ其ノ他ノ物件ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモ

ノノ如キハ廢止シタルモノト認ムヘキコト

(ロ) 鹽田以外ノ製鹽ニ在リテハ煎熬用主要物件ヲ所有スルトキハ他ノ物件ヲ讓渡又

ハ毀滅スルモ廢止ト認ムヘカラサルコト

(ハ) 製鹽地建物設備器具器械ヲ全然所有セサルニ至リタルモノノ如キハ廢止シタル

モノト認ムヘキコト

(ニ) 製鹽地建物設備器具器械ノ一部分ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモ尙各其ノ主要部分ヲ

所有スルモノノ如キハ廢止シタルモノト認ムヘカラサルコト

#### 豫備調査

十五 豫備調査ハ調査區域内各地ノ權衡ヲ失ハサル爲同一人ヲシテ區域内ヲ通シ調査セシム

ヘシ尙調査上偏頗ナキヲ期スル爲少クトモ二人以上ヲ一組トス爲ヘシ

十六 豫備調査ハ周到遺漏ナキコトヲ期シ本調査ニ臨ミテハ異動アリタルモノニ付調査スレ

ハ可ナル様努メテ綿密ニ調査スヘシ

十七 郵便ニテ提出シタル目錄中訂正ヲ要スルモノアリタルトキハ事ニ害ナキ限りハ其ノ儘

受理シ實地調査等ノ際便宜訂正セシムヘシ

十八 鹹水賣渡數量賣上代金及賣渡先等ニ付テハ法定ノ帳簿ニ依リ之ヲ調査シ若法定ノ帳簿

ナキトキハ之ニ代ハルヘキ帳簿書類ニ依リ之ヲ調査スヘシ若全然書類ナキトキハ交付金

ヲ下付セス

十九 數製鹽地ヲ併セ法第三條ニ依リ價額ヲ算出シタル場合ニ在リテハ其ノ各製鹽地ノ價額

ハ段別ニ依リ按分算定スルコトヲ原則トシ若段別ニ依リ難キ事情アリト認ムルトキハ實

際ニ應シ適宜算定スヘシ

二十 交付金ヲ下付スヘキ物件ノ見積價格又ハ禁止後見込價格ハ其ノ所有者ノ主觀的事情ニ據ラスシテ其ノ物件ノ客觀的價格ニ從ヒ計算調査スヘシ從テ土地ノ利用ニ付テモ所有者ノ意向又ハ其ノ經濟的事情ニ拘ラス其ノ土地及附近ノ事情ニ從ヒ最適當ト認ムル利用方ヲ調査スヘシ

二十一 禁止後ニ於ケル土地ノ利用ニ付テハ全部トシテ利用ノ見込ナキモ一部利用ノ見込アルモノニ在リテハ其ノ一部分ヲ分割シ適宜利用ノ見込ヲ立ツヘシ

二十二 土地ノ禁止後ニ於ケル見込價額ハ其ノ儘利用トシテノ差額ト加工利用トシテノ差額トヲ比較シ差額ノ少キモノヲ採ルヘシ鑑定ノ場合ニ於テモ必要アルトキハ此ノ例ニ準シ兩様ノ鑑定ヲ爲サシムヘシ

二十三 建物設備器具器械等ノ價格ハ賣買ノ實例アリテ其ノ實例カ特別ノ事情ニ基カサルモノナルトキハ其ノ實例ニ據リ若實例ナキトキハ鹽生產費調査方法ニ準シ其ノ新設費又ハ新調費ト保存期間等ヨリ見積リ計算スヘシ

二十四 建物設備器具器械ノ見積價格ハ製鹽禁止前同業者間ニ賣買スル價格ニ據リ禁止後見込價格ハ製鹽以外ノ用途ニ使用スル目的ニテ賣買スル價格ニ據ルヘシ尤禁止後尙他ノ製鹽ニ供用シ得ヘキ場合ニハ其ノ價格ニ據ル等實際ノ狀態ニ應スヘキハ勿論ナリ

二十五 禁止後他ノ用途ニ使用シ得ヘキ見込ノモノハ成ルヘク有利ニ使用セシメ得ル様盡力シ禁止後見込價額ハ之ニ依リ計算スヘシ

二十六 豫備調査ニ際シテハ禁止ノ爲見越製造ヲ爲スカ如キコトナカラシムル様留意スヘシ

二十七 鹹水製造者ニ對シテハ禁止ノ日迄ニ鹽製造者ニ賣渡ヲ爲サシムル様注意ヲ爲スヘシ若禁止ノ日迄ニ賣渡ヲ了セサルトキハ禁止後成ルヘク速ニ賣渡ヲ了セシムヘシ

二十八 鹽製造者ニ對シテハ成ルヘク鹹水ノ持越ヲ爲サシメサルコトニ注意スヘシ若製鹽ヲ了セサル場合ニハ成ルヘク短期間ニ製鹽ノ承認ヲ爲スヘシ

#### 本 調 査

二十九 本調査ハ支局長自ラ之ニ當ルヘキハ勿論ナルモ支局直轄ニ在リテハ事業課長出張所ニ在リテハ出張所長等ヲシテ補助セシムルモ妨ナシ

三十 申請書記載ノ價額ニシテ不當ナル記入アルモノハ計算ノ基礎ニ付詳細ナル説明ヲ爲サシメ共ノ當否ヲ勘案審査スヘシ

三十一 申請書ニ據リ算出シタル交付金額ト豫備調査ノ交付金額ト符合スル場合又ハ前者カ後者ヨリ低キ場合ニ於テ豫備調査後變動ナシト認ムルトキハ本調査ヲ省略スルモ妨ナシ尤豫備調査ヲ不完全ナリト認ムルトキハ更ニ實際ニ就キ調査スヘシ

三十二 本調査結了シタルトキハ誤記違算ナキヤ否ヲ審査シ交付金額ノ算出ヲ爲スヘシ

#### 協 議

三十三 法第六條第二項ノ協議ハ支局長自ラ之ニ當ラサル場合ハ支局直轄ノ分ハ事業課長出張所ノ分ハ出張所長ヲシテ之ニ當ラシムヘシ若容易ニ協議調ヒ難キモノニ在リテハ支局長必ス自ラ協議ヲ爲スヘシ

三十四 法第六條第二項ノ協議ハ成ルヘク本調査ノ際現場ニ於テ之ヲ爲スヘシ

#### 鑑 定

三十五 鑑定人ハ本調査ニ著手前豫選スヘシ

三十六 鑑定人ハ凡ソ左ノ區分ニ依リ豫選スヘシ

專賣官吏當該調査官吏ヲ除ク)

二 人

稅務官吏

公吏又ハ地方名望家

實業者

- 一 人
- 一 人
- 一 八

若利用加工等ニ關シ特ニ必要アルトキハ農業家水産家其ノ他専門家一人ヲ加ヘ前記ノ中  
 專賣官吏以外ノ者ヨリ相當人員ヲ差引クヘシ

三十七 鑑定人選定稟申ノ際ニハ專賣官吏以外ノ者ニ在リテハ前項ノ區分毎ニ同數ノ豫備員  
 ヲ豫選シ稟請スヘシ

三十八 鑑定カ調査價額以上ニ出テタルトキハ鑑定人ニ對シ再考ヲ求ムヘシ若當初ノ鑑定ヲ  
 更訂セサルカ又ハ更訂スルモ尙調査價額以上ニ出ルモノアルトキハ支局長ハ之ニ對シ意  
 見ヲ附シ稟申スヘシ

三十九 鑑定ニ付スヘキ物件ニ在リテハ其ノ物件ノ部分數量等ニ注意シ交付金ノ下付ヲ要セ  
 サル物件マテ鑑定ニ付スルカ如キコトナキ様慎重ニ調査スヘシ

四十 土地ノ鑑定ハ本調査ノ際鑑定人ヲシテ調査員ニ同行鑑定セシムヘシ

製鹽地整理ニ關スル法規ハ實ニ複雑ヲ極メ難解ノ事項尠カラス又製鹽地ノ狀態多樣ニシテ適用  
 上ノ疑義頻出シ殊ニ製鹽地價格ノ如キハ最複雑ヲ極メ之カ解説ヲ要スルモノ多シ由テ是等取扱  
 方ニ關シ疑義ニ涉ル事項ヲ細大トナク一括シ右會議ニ於テ支局長ニ指示シタリ即チ左ノ如シ

號外收納部長通牒、專賣支局長宛 (明治四十三年五月十日)

製鹽地整理事務取扱方注意事項

交付金下付ヲ得ヘキ製造者

- 一 法第一條第三項中製造禁止ノ際現ニ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ爲ス者トアルハ必シモ禁止ノ當日迄製造ヲ爲シツツアルヲ要ストノ意ニ非スシテ稼業ノ都合  
 上單ニ一時休止セルモノ又ハ其ノ地方一般ニ製造季節ニ非サル爲製鹽セサルモノノ如キハ現ニ製造ヲ爲セルモノト看テ可ナリ
- 二 交付金下付申請書ニ添附スヘキ製造又ハ製造承繼許可書ヲ紛失シタル者アル場合ニ於テ申請者カ事實製造者ナルコト明ナル以上ハ其ノ事由ヲ附記シ



交付金ヲ下付スルモ妨ナシ

三 自家用鹽ノミヲ製造スル製鹽者ニ對シテハ轉業交付金ヲ下付スルノ途ナシ

四 自家用鹽ノミヲ製造スル者鹽田ニ依リ製鹽スル場合ニ於テハ其ノ製鹽地ニ對シテハ交付金ヲ下付スル能ハスト雖鹽田ニ依ラスシテ製鹽スル場合ニ於テハ其ノ製鹽地ノ價額ハ法第五條第一號ニ依リ鑑定ニ付スヘキモノトス

五 自家用鹽ノミヲ製造スル者禁止ノ際現ニ製鹽ニ専用スル建物設備器具器械ヲ所有スルトキハ法第一條第四項及第五項ニ該當セサル限ハ之ニ對シ交付金ヲ下付スルコトヲ得

六 明治四十三年一月以後ニ於テ相續ニ因リ承繼シタル者ハ法第一條第三項ニ依リ轉業交付金ヲ受ケ得ヘキモ相續ニ因ラスシテ承繼シタルモノハ該交付金ヲ受クルコトヲ得ス

### 製造ノ廢止

七 明治四十二年十二月ノ現狀ニ依リ製造ヲ廢止シタルモノト認ムヘキモノハ法第二條第三號又ハ第四號ノ交付金ハ下付セラレサルモ禁止ノ際現ニ鹽又ハ鹹水ヲ製造スルトキハ法第四條ニ該當スル納付鹽賠償金額アルニ於テハ同第二條第一號又ハ第二號ノ交付金ハ下付ヲ受ケ得ヘキモノトス

八 現ニ製鹽地製鹽場器具器械等ヲ荒廢毀損ニ委シ製造ノ意思ナキモノト認ムヘキモノハ法第一條第四項中ノ現ニ製造ヲ廢止シタルモノニ該當スヘキモ若當業者ニ復舊製造ノ意思有リテ單ニ一時休止セルニ過キサルモノノ如キハ右ニ該當セサルモノトス

### 工事ノ着手

九 法第一條第五項但書ノ場合ハ工事ニ著手シ未成工セサルモノハ勿論既ニ成工シタルモノ未鹽又ハ鹹水ノ製造ニ著手セサルモノヲモ包含スルモノトス

### 製造ノ着手

十 法文中製造ニ著手トアルハ製造ノ許可ヲ受ケタル後始テ製造ニ著手スルノ意ニシテ休業後ニ更ニ製造ニ著手スル場合ハ包含セサルモノトス製造承繼ノ許可ヲ受ケタル後始テ製造ニ著手スル場合亦之ヲ包含セス

### 製鹽地ノ範圍

十一 流動式製鹽地ハ鹽田製鹽トシテ交付金下付ノ取扱ヲナスモノトス

十二 鹹水貯藏ノ代用トシテ採取鹹砂ヲ貯藏スル場合ニ在リテハ鹹砂貯藏ニ供用スル土地ニ對シテハ鹹水貯藏用地ニ準シ交付金ヲ下付スルモノトシテ調査スヘシ

十三 法第一條第五項但書ノ場合ニ於テ製鹽地カ未民有地ニ編入セラレサルモノニ在リテハ其ノ加工者ハ土地所有者ニ非サルヲ以テ製鹽地ニ對シ交付金ヲ下付スル能ハサルハ勿論工事ニ對シテモ交付金ヲ下付スルノ途ナシ

十四 採鹽地ノ段別ハ普通許可段別ニ依リ許可段別ト土地臺帳面ノ段別ト符合セサル場合ニハ土地臺帳ニ依ル但シ一筆ノ土地中製鹽ヲ廢止シタルモノト認メラルル部分アルトキハ其ノ部分ヲ除外シタル段別ニ依ル

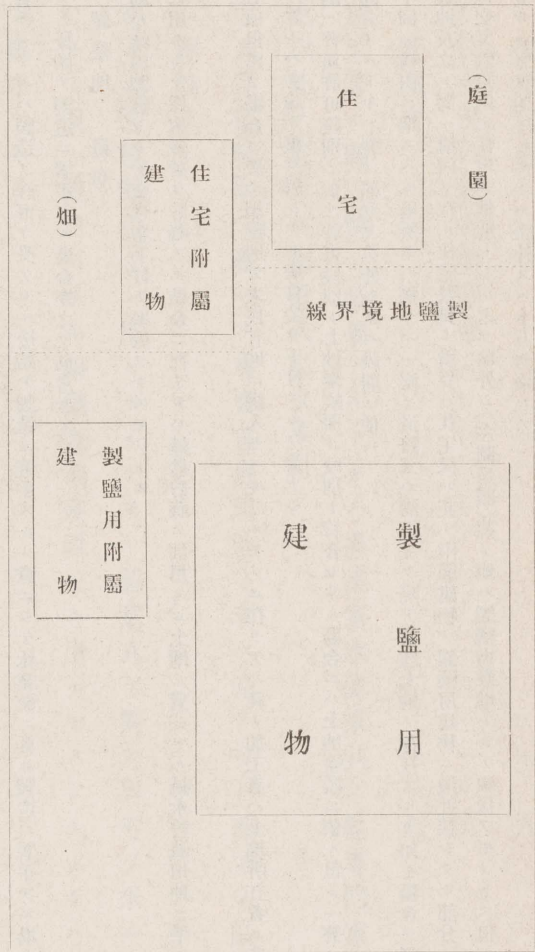
十五 省令第三條中同一構内ニ準スヘキ場所トハ例ヘハ一條ノ道路又ハ溝渠等ヲ隔テ當該土地ノ存在スルカ如キ場合ヲ謂フモノトス

十六 製鹽用建物敷地及之ト同一構内ニ在ル住宅敷地ノ境界ハ住宅又ハ其ノ附屬建物ノ製鹽用建物ニ最近接シタル部分ノ兩垂下ヲ限界トシ各別ニ直線ヲ引キ此ノ直線ノ交叉點以内ハ住宅ノ敷地トシテ之ヲ除外シ(左圖參照)其ノ他ハ製鹽場敷地トシテ取扱フモノトス但シ畑庭園等ノ如キ鹽又ハ鹹水ノ製造ニ供用セラレサルコト明ナルモノハ除外スヘキハ勿論トス

## 第七章 法施行ニ關スル訓示及諮問

十七 製鹽地ノ價額ニシテ法定ノ方法ニ依ルヘキモノト鑑定ニ付スヘキモノノ區分ハ左ノ如シ

製鹽地價額ノ算定



區分	法定方法ニ依ルヘキ價金額	鑑定ニ付スヘキモノ	交付金ノ有無
法第一條第四項ノ場合			無
法第一條第五項前段ノ場合			無
法第四條第一項前段ノ場合	二箇年分平均		有
法第四條第一項但書ノ場合	明治四十二年分		有
法第四條第二項ノ場合	繼續シタル年ノ分		有
法第四條第三項ノ場合	納付鹽ノ數量判明セル年ノ分		有
法第五條第一號ノ場合		鑑定	有
法第五條第二號前段ノ場合		鑑定	有
法第五條第二號後段ノ場合		鑑定	有

法第五條第三號ノ場合	鑑定	有
法第五條第四號ノ場合	鑑定	有
法第五條第五號ノ場合	鑑定	有
法第五條第六號(第一條第五項但書)ノ場合	鑑定	有

十八 明治四十二年十二月ノ現狀ニ於テ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ廢止シタルモノト認メラレサル製鹽地ニシテ明治四十一年同四十二年共ニ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ爲ササリシ製鹽地ノ價額ハ法第五條第二號本文ニ該當スルモノトシテ鑑定ニ付スルモノトス

十九 製鹽地トシテ鹽田以外ノ地目ヲ有スル土地ヲ使用スル場合ニ於テ製鹽禁止後依然現在地目ノ用途ニ使用シ得ヘキモノト雖實際其ノ價額ニ於テ減少セルコト明ナルニ於テハ減價セルモノトシテ調査スルモノトス

二十 鹹水製造ノ許可ヲ受ケタル製鹽地ノ價額ハ常ニ第五條第五號ニ依リ鑑定ニ付スヘキモノトス

二十一 法第三條ニ依ルヘキ製鹽地ニシテ同一人ノ所有ニ係ル場合ニ於テハ各種製鹽地ハ區分シテ價額ヲ決定スルヲ要セス煎熬場貯藏場等ノ敷地ヲ包括シ之ヲ定ムルモノトス

二十二 法第三條ニ依リ計算シタル製鹽地ノ價額ヲ禁止後ノ見込ノ價額ヨリ下ルモノニ在リテモ法定ノ價額ハ實際ノ生産力ニ依リ算定セルモノナルヲ以テ此ノ場合ニ於テハ禁止ノ爲價額ヲ減セサルモノト見ルヘク從テ製鹽地價額ハ法定ノ價額ニ依リ殘存價額ハ時價ニ依リ計算スヘキモノトス

二十三 加工ヲ要スヘキ製鹽地ノ成工後見込價額トハ加工ヲ要スヘキ土地ニ工事ヲ施シ成熟シタル後ノ價額ヲ指スモノトス例ヘハ三年後ニ成工シ價額五百圓ヲ算スル土地尙其ノ後三年ヲ經成熟シタル爲七百圓ニ上ル見込アリトスレハ成工後ノ見込價額ハ後者ニ依ルヘキモノトス

二十四 同一煎熬場ニ於テ鹽田製鹽ト鹽土製鹽ト二種ノ製鹽ヲ爲ス場合ニ於ケル製鹽地ノ價額ハ法第五條第五號ニ依リ鑑定ニ付スヘキモノトス

二十五 加工利用地ノ工費ニ金利ヲ加算シタル金額ヲ成工後ノ見込價額以上ニ上ルヘキ場合ニ在リテハ其ノ製鹽地ハ利用ノ見込ナキモノトシテ調査スルモノトス

納付鹽賠償金額

二十六 納付鹽賠償金額ノ二箇年平均ハ厘位ヲ存シ交付金額ニ在リテハ其ノ申請者ニ交付スヘキ總計額ニ於テ厘位ヲ切捨ツルモノトス

二十七 納付鹽ハ製造月日ノ如何ヲ問ハス納付ノ日ヲ以テ調査スルモノトス

二十八 納付鹽ノ數量ハ鹽製造高臺帳ニ其ノ鹽賠償金額ハ鹽納付書及鹽指定引渡命令書ニ依リ鹹水賣上代金ハ鹹水製造業者ノ帳簿及買入者ノ帳簿ヲ對照シテ調査シ執モ特ニ其ノ正確ヲ期スヘシ

二十九 明治四十一年二月以後ニ製鹽ニ著手シタルモノニシテ明治四十一年ノミ製鹽シ同四十二年中全ク製鹽ナキモノハ法第四條第一項但書ニ該當スルモノノ如キモ明治四十二年分ノ納付鹽ナク賠償金額ナキヲ以テ轉業交付金ヲ下付セス此ノ場合ニ於ケル製鹽地交付金ニ付テハ法第五條第二號後段ニ該當スルモノトシテ鑑定ニ付スヘキモノトス

三十 製造承繼ノ場合ニ於ケル納付鹽賠償金額及鹹水賣上代金ノ計算方ハ轉業交付金ニ在リテハ相續ニ因リ承繼シタル場合ニ限リ被承繼者ノ分ヲ通算シ相續ニ因ラスシテ承繼シタル場合ニ於テハ被承繼者ノ分ヲ通算セス製鹽地ノ交付金ニ在リテハ承繼ノ如何ヲ問ハス其ノ土地ヨリ生産シタル納付鹽ノ賠償金額ヲ通算シタルモノニ依ルモノトス

三十一 鹽製造者カ鹹水ヲ買入レ製鹽シタルトキハ其ノ買入鹹水ヨリ生シタル納付鹽ノ賠償金額ハ通算シテ轉業交付金ヲ算出シ差支ナキモ製鹽地ニ對ス

第七章 法施行ニ關スル訓示及諮問

ル交付金ノ基礎ニハ算入セサルモノトス

三十二 納付前災害ニ罹リタル損害鹽ハ交付金算定ノ基礎ト爲スヘキ數量ニ計入セサルモノトス

鹽包裝ニ對スル各種補償金ハ總テ納付鹽賠償金額中ニ計入スルモノトス

三十三 コーラ、ガリ、鹽土等ヲ買入レ製鹽スルモノノ納付鹽賠償金額カ僅少ノモノナルトキハ製鹽地ニ對スル交付金算定上別ニ他ノ製鹽ニ依ル納付鹽賠償金額ト區分セシテ計上スルモ差支ナシ

三十四 自己ノ採取シタル鹹水ト買入鹹水トヲ以テ鹽ヲ製造スル者アリタル場合ニ於テ轉業交付金ハ其ノ納付鹽賠償金額ニ依リ算出スヘキ製鹽地ノ價額ハ法第五條第五號ニ依リ鑑定ニ付スヘキモノトス

三十五 所有者ヲ異ニスル數製鹽地ヲ一括シテ其ノ納付鹽賠償金額ヲ知り得ヘキモノニ在リテハ各所有者間ニ其ノ納付鹽賠償金額ノ區分ニ付協議續リ得ル場合ニ限リ豫メ關係所有者ヨリ連署ヲ以テ各製鹽地毎ニ納付鹽賠償金額ノ區分ヲ申出シメ鑑定ニ付スルコトナク右ニ基キ法第三條ニ依リ各製鹽地ノ價額ヲ算定スルモ妨ナシ

三十六 二人以上製造ニ從事セル場合ニ共同製造トシテ一許可ヲ與ヘ居タルモノヲ其ノ後共同者各人別ニ製造許可ノ手續ヲ爲シタル場合ニ於テハ轉業交付金ハ禁止當時ノ現狀ヲ以テ交付スヘキモノナルヲ以テ其ノ算出ノ基礎トナルヘキ納付鹽賠償金額ノ區分ニ付テハ前項ニ準シ關係當事者ノ連署ヲ以テ各人別金額ヲ申出シメ之ヲ標準トシテ轉業交付金ヲ算定スルモノトス

鹹水賣上代金

三十七 鹹水ノ製造ニ關シ法第四條第四項ノ規定アルモ右ハ同條第一項ハ鹹水製造者ノ轉業交付金ニ限り之ヲ準用シ製鹽地ノ交付金ニ付テハ法第五條第五號ニ依リ鑑定ニ付スヘキモノトス

三十八 鹽製造ノ許可ヲ受ケタル者カ其ノ採取ニカカル鹹水ヲ賣渡シタル場合ハ其ノ賣上代金ニ應ジ鹹水製造者トシテ轉業交付金ヲ下付スヘキ其ノ製鹽地ニ對スル交付金ノ算定ニ付テハ法第五條第五號ニ依ルヘキモノトス

製鹽ノ繼續

三十九 地方ニ依リ一箇年間引續キ製鹽ヲ繼續セシテ季節ノ關係上又ハ農閑ノ數月間時製鹽ニ從事スルラ常態トスル如キハ之ヲ繼續ト看做スヘキモ偶々一家ノ事情ニ因リ其ノ地方ニ於ケル製鹽期間ナルニモ拘ラス休業スルモノノ如キハ不繼續トシテ取扱フモノトス

四十 明治四十一年同四十二年共ニ鹽ノ製造ヲ繼續セサル場合ニ於テ製造者ニ對スル轉業交付金ノ計算方ハ法第四條第一項ニ依ルヘキモノニシテ同條第二項第三項又ハ第五條ノ規定ニ依ルヘキモノニ非ス

建物及設備

四十一 鹹水溜ハ其ノ上屋ニ限リ省令第四條ノ建物トシテ交付金ヲ下付スヘキモノトス

四十二 鹹泉井敷ハ製鹽地トセス設備トシテ其ノ價額ヲ定ムルモノトス

四十三 沼井ハ鹽田中ニ包含スルモノト見ルヘキモノナルヲ以テ鹽田敷地ト沼井ト所有者ヲ異ニスル場合ト雖鹽田所有者ニ對シテハ交付金ヲ下付スヘキモ沼井ノ所有者ニ對シテハ別ニ交付金ヲ下付セサルモノトス

四十四 濱子部屋、燃料置場、包装置場ノ敷地ハ交付金ヲ下付スヘキ製鹽地ノ中ニ包含スルモ是等ノ建物ニ對シテハ交付金ヲ下付セサルモノトス

四十五 省令第七條ハ生産力ノ現狀維持ヲ計ルヲ主眼トス從テ同條ノ修繕トハ主トシテ大修繕ヲ指ス意ニシテ雨漏修繕ノ如キ一時的小破修繕ハ之カ爲ニ其ノ價額ヲ増加シタルモノト看做スノ要ナク自然其ノ承認ヲ受ケシムル必要ナカルヘシ

四十六 省令第五條第二號中排水管トアルハ金屬製ノ外土管竹管等ヲモ包含スルモノトス

四十七 海水、鹹水又ハ鹹泉ノ輸送裝置ハ架空ノモノ又ハ全然地上ニ露出設置スルモノノ如キハ輸送裝置トシテ交付金ヲ下付スヘキモ幾部地中ニ埋設セルモノノ如キ土地ニ定著シタルモノハ省令中ノ溝渠ト認メ製鹽地ノ中ニ包含スルモノトシテ取扱フモノトス

四十八 排水ノミニ専用スル水車ハ省令第五條第四號ニ該當セサルモ海水、鹹水又ハ鹹泉ノ汲揚ト兼用スルモノハ交付金ヲ下付スヘキモノトス

四十九 一棟ノ建物中所有者ヲ異ニシ又ハ交付金ヲ下付セサル種類ノ建物ト繼續スル部分アルトキハ豫メ各所有者ヲシテ其ノ部分ヲ協定セシメタル上連署申告セシムヘシ

#### 製造専用物件

五十 製鹽専用トシテ設備セルモ現實使用ヲ爲サズ單ニ豫備ト爲セル物件ニ對シテハ交付金ヲ下付セサルモノトス

五十一 常時使用スル煎熬場貯藏場ノ外ニ豐年等特殊ノ場合ニ限り製造又ハ貯藏ニ使用スル建物設備器具器械ノ如キハ豫備ト認メ専用物件トシテ取扱ハサルモノトス

#### 物件ノ毀損

五十二 省令第九條第二號ノ毀損トハ其ノ物ノ本來ノ效用ヲ爲ササルニ至レル状態ヲ謂フモノトス

#### 目錄記載事項

五十三 省令第一條ニ依リ提出スル目錄ニ記載スル物件ハ法令ニ基キ交付金ノ下付ヲ受ケ得ヘキ種類、品目ニ限ラシムルコト取扱上利便ナルヲ以テ可成速ニ之ヲ周知セシメ除外訂正等ノ煩ナキヲ期スヘシ

#### 交付金下付申請書

五十四 所有權ニ付争アリシ爲省令第二條ノ期間ニ申請書提出ニ至リ難キ事情アルトキト雖省令第二條ノ期間内ニ申請ナキトキハ交付金ヲ下付セサルモノトス

五十五 法定代理人タルコトヲ證明スヘキ書類ハ適宜ナルモノヲ得難キトキハ戶籍吏ノ證明ヲ以テ代用スルモ妨ナシ

五十六 製鹽地力數人ノ共有ナルトキハ之ニ對スル交付金ハ共有者總員ヨリノ委任狀ヲ有スル者ニ交付スルコトトシ共有者各自間ノ分配ノ如キハ政府ニ於テ關係セサルモノトス

#### 交付金ノ決定

五十七 法第八條端金ノ計算ハ各申請者毎ニ算定ス一人ニテ一種又ハ二種以上ノ交付金ニ付數申請書ヲ提出シタルトキハ交付金額ノ合計ニテ端數ヲ算出スヘキモノトス

#### 禁止後處分

五十八 省令第十九條第二項ハ製造禁止後ニ於テ鹹水製造者カ其ノ所有鹹水ヲ以テ製鹽スルコトノ認可ヲ受ケ得ルノ趣旨ニ非ス鹹水製造者ノ持越シタル鹹水ハ製鹽者ニ限り讓受ケ認可ヲ得テ製鹽スヘキモノトス

五十九 省令第十九條ノ製鹽期間ハ豫定ノ見込ヲ立テシメ相當期間ニ限り承認ヲ爲スヘキモノトス

六十 製造禁止區域内ニ於ケル鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物設備器具器械ハ交付金ノ下付ヲ受ケサル場合ト雖取締上危險アリト認ムルトキハ法第十條ニ依リ封印其ノ他監督上必要ノ處分ヲ爲スヘキハ勿論トス

支局長會議ノ終了ニ方リ五月十日專賣局長官ハ重ネテ整理事業ノ施行上ノ大眼目ト認ムヘキ事

## 第七章 法施行ニ關スル訓示及諮問

項及鹽專賣制度ノ將來ノ方針ニ關シ左ノ如ク指示シタリ

今ヤ閉會ニ際シ製鹽地整理ニ關シ重ネテ其ノ方針心得等ヲ述ヘムニ予ノ信スルトコロニ依レハ鹽田整理問題ハ專賣法實施ノ當時ヨリ胚胎シ明治四十年十月專賣局ニ於テ鹽專賣ヲ引受ケタル際已ニ整理ノ止ムヲ得サルヲ覺悟シタリ爾來本局ニテハ之ニ關シ諸般ノ調査ヲ爲シ本年漸ク法案トシテ帝國議會ニ提出シタルニ幸ニ兩院ノ通過ヲ見法律トシテ發布セラレタリ於是鹽專賣ノ基礎ハ大體ニ於テ確定シタルモノト謂フヲ得ヘク國家ノ爲諸君ト共ニ大ニ祝スヘキコトト思考ス

是ニ於テ本官ハ重大ナル責任ヲ負ヒタリ素ヨリ此ノ責任ハ自己ノ意思ニ反シタル責任ニ非スシテ自ラ進ミテ引受タル責任ナリ然レトモ事元ヨリ自己一人ニテ成シ遂ケ得ヘキモノニ非サルヲ以テ此ノ責任ハ勢諸君ニ分タサルヘカラス予ハ信ス諸君モ此ノ責任ハ自己ノ意思ニ反シタル責任ト思ハル事ナカルヘシ故ニ予ハ諸君ト共ニ此ノ重大ナル責任ヲ負フ覺悟ナリ即チ大體ニ付テハ本官ノ當然負フヘキ責任ナルモ各地方ニ於テハ諸君ノ分擔ニ俟ツト謂フノ意ナリ依テ從來數回談セシ如ク此ノ事務ニ關スル調査ハ細密慎重ナルヘク其ノ終局ハ極テ圓滿ナルヘク留意セラレム事ヲ望ム又法律規則等ノ解釋ハ已ニ質問モアリ之ニ對シ夫々説明ヲ爲シタルヲ以テ最早餘蘊ナキモノト思惟スルモ爲念重ネテ茲ニ一言スヘシ

元來鹽田整理ハ製鹽地トシテ不適當ナル土地ヲ整理シ適當ナル土地ヲ殘ス即チ劣等鹽田ヲ廢シ優等鹽田ヲ殘スト謂フニ在リ此ノ趣旨ハ議會ニテモ表示セシ所ナリ而シテ禁止後ノ製鹽地ヲ經濟的ニ利用スルハ當ニ交付金ノ額ヲ少クシ政府ノ負擔ヲ輕クスル所以ナルノミナラス國家經濟ノ上ヨリ見テ整理ノ土地ハ可成經濟的有效的ニ利用セサルヘカラサルナリ即チ今回整理ノ土地ヲ田畑養魚池等ニ利用スル途ヲ講究シ禁止後ノ價值ヲシテ禁止前ヨリ増ササルマテ

モ少クトモ同等以上ニ利用シ得ラルル様致シタキモノナリ獨リ此ノ希望アルノミナラス政府トシテハ斯クナラシムヘキ義務アリト思考ス然ルニ或ハ若荒蕪地トナサシメ否ラサルモ其ノ生産力ヲ減スルカ如キコトアリテハ國家トシテ非常ナル損失ヲ招クモノニシテ國家經濟上恐ルヘキコトナリ尤地理ノ關係上或特別ナル土地ハ荒蕪地トナルカ否ラサルモ其ノ生産力ヲ減シ爲ニ經濟的價值ヲ減スルノ止ムヲ得サルモノアラムモ全國ノ禁止區域ノ總計ヨリ見レハ一時ハ免ニ角永久ニ互リテハ其ノ經濟的價值ハ製鹽禁止前ノモノト同一以上ナラサルヘカラス又斯クナラシムヘキ責任アリト思考ス故ニ諸君ハ整理後土地ノ利用ニ對シテハ十分研究ヲ遂ケ利用シ得ラルル丈利用セシムル様盡力セラレムコトヲ望ム又從業者ノ轉業モ土地ノ利用ト同ク禁止後全ク業ヲ失ヒ一時的ノミナラス永久的ニ恢復シ得ラレサルカ又ハ轉業スルモ從來ヨリ所得ヲ減スルコトトナラハ結局國民ノ經濟力ヲ減殺シタルモノナリト謂ハサルヘカラス尤其ノ地方ニ於テ他ニ轉スヘキ業務ナクトモ直ニ失業ト謂フヘカラサルコトアリ例ヘハ北海道其ノ他ニ移住シ開墾漁業等ノ事業ニ従事スルカ如キ他地方ニ於テ從來ノ業務ニ代ハルヘキ業務ヲ得之ニ依テ從前ト同等以上ノ收入ヲ得ルニ至ルトキハ是決シテ失業ト謂フヘカラス之レニ反シ例ヘハ某縣ニ於テ農業又ハ漁業ノ副業トシテ製鹽シタルモノカ整理後専ラ本業ニ従事スルトシ其ノ本業ノ收益カ失ヒタル製鹽ノ利益以上ニ増加スルカ如キ發展ヲ爲ササル限ハ失業ニハ非サラムモ這ハ國民ノ經濟力ヲ減シタルモノト謂ハサルヘカラス故ニ一時的ハ免モ角永久的ニ失業又ハ資力ヲ減スルコトナキ様間接ニ盡力セラレムコトヲ望ム

整理ノ事業ハ交付金ノ下付ヲ終レハ夫ニテ足ルト云フ如キ單純ナルモノニ非ス必次ニ述フヘキ六ノ條件ヲ充タサシメテ始テ完全ニ整理ヲ成功シタルモノト謂ハサルヘカラス即チ

第一 法律ニ豫定シタル交付金額ニテ豫定ノ事業ヲ遂行スルコト即チ豫定ノ交付金額三百

二十萬圓以內ニテ豫定ノ千九百餘町歩ノ鹽田ヲ整理スルコト

第二 整理ニ方リテハ國民ノ苦情又ハ紛綜問題ヲ惹起サス圓滿ナル終局ヲ見ルコトヲ要ス尤多數ノ當事者ナルヲ以テ或一部ニ苦情不平アルハ免レサル所ナルモ全體ノ者ヲシテ苦情ヲ起サシメサル様終局ヲ告グルコト

第三 禁止後ノ土地ノ價格カ全體トシテ又永久的トシテ禁止前ヨリモ増加スルコト

第四 從業者ヲシテ轉業後永久ニ收入ヲ減少セシメサルコト

第五 整理後鹽ノ供給カ從前ヨリモ圓滿トナルコト殊ニ移入又ハ輸入スヘキ臺灣關東州鹽需給上ノ權衡ヲ保ツコト即チ供給トシテ一億斤ヲ入ルルモ嗜好ニ適セサル爲十分ノ消費ナク空ク倉庫ニ停滯シ一方鹽ノ不足ヲ告グルカ如キコトナキ様心懸ルコト尙換言スレハ國民ヲシテ鹽田整理後鹽ノ供給ハ前ヨリモ潤澤トナレリトノ感アラシムルコト

第六 整理ノ理由ハ鹽價ノ低減及均一ニ在ルヲ以テ整理後ノ鹽價ヲシテ整理前ニ比シ均一低廉ナラシムルコト

以上六ノ條件ヲ充タシ初メテ整理事務ノ成功ト謂フヘキヲ以テ諸君ハ十分考慮ヲ費シ是等ノ條件ヲ漏ラスコトナクシテ此ノ事業ヲ成シ遂ケラレムコトヲ希望ス

今回ノ整理ハ一言ニシテ云ヘハ鹽價ノ均一及低下ヲ目的トスルニ在リ其ノ言漠然トシテ或ハ判明シ難キ點ナキヲ保セサルヲ以テ今其ノ順序ヲ述ヘム

第一 一方ニ於テ政府ハ回送費ノ負擔割合ヲ増進シ他方ニ於テ鹽引渡場所及販賣官署ヲ増加シ

第二 更ニ將來回送費ノ負擔額ヲ増シ遂ニ全部負擔ヲ爲スニ至ラム

第三 販賣官署ヨリ元賣捌人ノ營業所迄ノ運賃ヲ政府ニ於テ負擔スルノ時期來ルヘシ現ニ



煙草ノ方ハ此ノ域ニ達シ居レリ鹽モ亦此ノ域ニ達セサルヘカラス從來鹽價ノ均一低下ニ關シ圖リ來レル方法ハ產地ニ於ケル低下ヲ行ハス主トシテ非產地ノ鹽價ノミヲ低下セシメ其ノ差違ノ少ナカラムコトヲ力メタリシモ漸次均一トナルニ至ラム

第四 其ノ後ハ進テ一般ノ專賣收入率ヲ引下ル必要アルヘシ

大體ノ順序ハ此ノ如クナルヘシ是即チ鹽田整理ニ本ク鹽價ノ均一低下ト云フコトナリ鹽價ノ均一低下スルト共ニ心懸ヘキハ鹽質ノ改良ニアリ鹽質ハ專賣實施前ニ比シ實施後逐年鹽化曹達ノ量ヲ増シ最初六十九ノモノ漸次昂進シ今日ニテハ七十八トナレリ誠ニ喜フヘキ現象ナルモ之ハ唯全國ヲ通シテノ平均ニシテ產地ニ由リテハ甚キ差違アリ即チ或產地ハ品質良好ナルモ或產地ハ品質不良ナリ之ヲ販賣スルニ方リ一方ハ賣行良キモ一方ハ停滯スト云フ状態ニテ販賣上ニ及ホス支障甚大ナリ斯クノ如ク產地ニ由リテ品質ニ不同アリテハ面白カラサルヲ以テ不良ノ地方ハ大ニ改良ヲ加ヘ良好ノ地方ト雖益々改良サレム事ヲ望ム此ノ事ハ議會ニ於テ十州地方ヲ整理外ニ殘シタル理由トシテ説明シタルトコロナリ即チ「カナワ」式ヲ採用セハ品質ヲ良クシ生産費ヲ減スルコトヲ得ヘシ蓋シ「カナワ」式ノ實價ハ末世ニ發表セサルモ臺灣又ハ關東州鹽ヲ再製セシモノヨリモ高價トナラサルヘシト明言シ置キタリ内地鹽ハ免角品質良好ナラサル缺點アルヲ以テ今後ハ益々改良ヲ加ヘ「カナワ」式ノ如キモ之ニ資スル様心懸ラレタシ云々

## 第二節 明治四十四年度

大藏大臣訓示、專賣支局長會議諮問及指示、製鹽地整理事務取扱心得、製鹽地整理事務取扱方注意事項、專賣局長官訓達及指示